

2023-2024 年度 第 8 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 業務支援委員会 議事録					
開催日時	令和 6 年 2 月 9 日 (金)	会 場	WEB 会議 ((一社)神奈川県建築士事務所協会)		
出席者 (参集:○) (Web :W)	副会長 山口雄 委員長 W鈴木 副委員長 W永島 委員 W渡邊・W金子・W長友・磯・W早川・W大塚・W江間・W天草				
<p>1. あいさつ 鈴木委員長より</p> <p>2. 各種報告事項</p> <p>①前回議事録の確認</p> <p>②1/22 事業承継士が話す事業承継のいろは (入門編) セミナーの報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総財務委員長へ提出することとした。 また、次年度も継続して実施することを確認した。 <p>③他士業紹介サービスに関する協力依頼について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導委員会へ協力を依頼したことが報告された。 ・行政書士会でも内容を確認して頂いていることを併せて報告。 <p>④1/29 行政書士会との打合せ実施報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政書士会 5 名と当会 5 名 (山口英生副会長、山口雄副会長、業務支援委員会正副委員長、総財務委員長) で実施。 協定締結の内容の検討。包括的なものとなる見込み。 行政書士の方から神事協会員へ個人的な依頼となることが想定される。 当会会員から行政書士へも個人的な依頼となることが想定される。(文書作成等) 行政書士の方は、内容に応じて交通整理をして頂くことも可能。 <p>⑤次年度修正予算案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鈴木委員長が至急作成し、提出することとした。 <p>3. 議題</p> <p>(1) 日事連・令和 6 年度単位会組織強化支援事業の検討</p> <p>① (案 1) 「会員サポートセンター」コンテンツの更なる充実と事務所協会の広報拡充事業</p> <table border="1"> <tr> <td>事業概要</td> <td> <p>令和 5 年度に「会員サポートセンター」を設立し、運営を開始しておりますが、会員の要望に応えるためには更なるコンテンツの充実がもめられております。そのため、新コンテンツの検討業務を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会アーカイブ公開のための法的問題の整理 ・他士業との提携内容の充実 (フローチャートによる相談先士業の整理など) ・保証サービスの整理(複数のサービスを目的別に整理し利用しやすくする) <p>併せて、「実務文書フォーマット」の検討、作成を実施します。</p> <p>他士業との協定締結等に向けた会議、互いのメリットとなる内容の調整を実施。</p> <p>事務所経営支援として、事業継承に関する勉強会をシリーズ化し、無料で実施。</p> <p>次に、会員事務所と消費者とをつなげ、仕事につなげることも重要な内容</p> </td> </tr> </table>				事業概要	<p>令和 5 年度に「会員サポートセンター」を設立し、運営を開始しておりますが、会員の要望に応えるためには更なるコンテンツの充実がもめられております。そのため、新コンテンツの検討業務を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会アーカイブ公開のための法的問題の整理 ・他士業との提携内容の充実 (フローチャートによる相談先士業の整理など) ・保証サービスの整理(複数のサービスを目的別に整理し利用しやすくする) <p>併せて、「実務文書フォーマット」の検討、作成を実施します。</p> <p>他士業との協定締結等に向けた会議、互いのメリットとなる内容の調整を実施。</p> <p>事務所経営支援として、事業継承に関する勉強会をシリーズ化し、無料で実施。</p> <p>次に、会員事務所と消費者とをつなげ、仕事につなげることも重要な内容</p>
事業概要	<p>令和 5 年度に「会員サポートセンター」を設立し、運営を開始しておりますが、会員の要望に応えるためには更なるコンテンツの充実がもめられております。そのため、新コンテンツの検討業務を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会アーカイブ公開のための法的問題の整理 ・他士業との提携内容の充実 (フローチャートによる相談先士業の整理など) ・保証サービスの整理(複数のサービスを目的別に整理し利用しやすくする) <p>併せて、「実務文書フォーマット」の検討、作成を実施します。</p> <p>他士業との協定締結等に向けた会議、互いのメリットとなる内容の調整を実施。</p> <p>事務所経営支援として、事業継承に関する勉強会をシリーズ化し、無料で実施。</p> <p>次に、会員事務所と消費者とをつなげ、仕事につなげることも重要な内容</p>				

	であるため、そのシステム構築を検討すると共にメディア（TV・ラジオ等）を活用し、一般社団法人神奈川県建築士事務所協会と建築士事務所の業務をPRすることにより、消費者（学生含む）や将来に向けた担い手育成にもつながると考えております。併せて、PRチラシ等を作成します。
実施工程（予定）	全体工程 令和6年4月1日～令和7年3月31日
目的と期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・会員サービスの更なる充実による退会防止 ・「会員サポートセンター」による会員増強 ・会員事務所の業務受注拡大 ・他士業団体との連携によるPR

収支予算書		
1. 収入		
費目	内訳	金額
日事連からの支援金		1,000,000
単体会負担分		683,500
合計		1,683,500
2. 支出		
費目	内 訳 積算根拠を提示すること（見積書の添付等）	金額
会場費	説明会などの会場費等（設備費含む）	150,000
印刷製本費	チラシ印刷費（A4両面カラー各1,000枚）	148,500
消耗品費	会議お茶代 など	30,000
旅費交通費	他士業団体との打合せ、各委員会検討会議 交通費（平均1,500円×200名）	300,000
謝金	他士業団体へのお礼等（5,000円×5回） 講習会講師料（30,000円×3回）	115,000
広報費	例. FM横浜 スポットCM 44,000円×10回	440,000
委託・外注費 ※ 総事業費の3割程度	会員サポートセンターホームページ作成費用 （715,000円）	500,000
合計		1,683,500

②（案2）県内工業高校などを対象とした「出前講座」の実施

事業概要	<p>人口減少を背景に高齢化と担い手不足が叫ばれる建築業界において、若手人材の確保と育成が課題となっている。そのようなことから、将来の担い手として期待される、地元の工業高校などの生徒に設計事務所（建築士事務所）の仕事の内容と魅力を伝えることを目的に出前講座を実施する。</p> <p>また、第一線で活躍する会員建築士事務所が講師になることにより、生徒の皆さんに直接的に仕事の魅力を体感して頂き、今後の進路選択における材料となると共に高校教育等の一助となることを目的に実施する</p> <p>実施：10カ所を予定 県内工業高校 6校（磯子工業高等学校・小田原城北工業高校・神奈川工業高校・向の岡工業高校・横須賀工業高校・藤沢工科高校）</p>
実施工程（予定）	全体工程 令和6年4月1日～令和7年3月31日
目的と期待する効果	<p>建築士事務所の仕事を知ってもらい、魅力を感じて頂ける 将来の担い手へのアピールができる 今後、産学共同事業等の実施につながる 学校とつながることにより、会員建築士事務所への就職等も支援できる 協会のこと、活動のことを知って頂ける</p>

収支予算書		
1. 収入		
費目	内訳	金額

日事連からの支援金		200,000
単位会負担分		140,000
合計		340,000
2. 支出		
費目	内 訳 積算根拠を提示すること（見積書の添付等）	金額
印刷製本費	配付資料印刷（500円×200人）	100,000
消耗品費	会議お茶代 など	10,000
旅費交通費	検討会議 交通費（平均1,500円×60名） 出前講座実施 3名×3,000円×10校	180,000
謝金	会員事務所に属する者に支払われる謝金は支援対象としない。	0
調査費	学校との調整（ヒアリング、内容、日程など）	50,000
合計		340,000

（ご意見等）

- ・ニーズ等を調査し、実施予算を確保した方が良い。結果により、令和7年度に申請してはどうか。
→ 磯委員へ来年度に1回実施することとし、調整等をお願いする。

③（案3）災害時相談員育成eラーニング（基礎知識編 動画データ作成）

事業概要	何時起こるかわからないのが災害です。 当会は、行政より被災者のための相談会や現地調査の要請があった場合、会員の皆様に、相談員としてのご対応をお願いさせていただくこととなることから、相談員に必要な基礎知識などを習得して頂くことを目的に動画データを作成する。 動画作成データは、会員事務所へ配布し、所員育成にも活用する
実工程（予定）	全体工程 令和6年4月1日～令和7年3月31日
目的と期待する効果	相談員の育成 災害時対応の強化

収支予算書		
1. 収入		
費目	内 訳	金額
日事連からの支援金		200,000
単位会負担分		168,000
合計		368,000
2. 支出		
費目	内 訳 積算根拠を提示すること（見積書の添付等）	金額
会場費	撮影会場費（設備費含む）	50,000
旅費交通費	内容検討会議（10名×2,000円×5回） 講師 2,000円×3名	106,000
謝金	講師 30,000円×3名	90,000
委託・外注費 ※総事業費の3割程度内	撮影料金など（別添資料参照） 2時間 75,000円＋延長1時間 15,000円 パワポデータ挿入（基本料2,000円＋100頁×300円）	122,000
合計		368,000

以上の3案の内容を確認し、（1）のみ提出することとした。

（2）「会員サポートセンター」設立に向けて

1) チラシのキャッチコピーの確認等

- ・以下の内容を確認し、広報情報委員会へ提出することとした。

「いいじゃんサポセン」(早川委員提案)

いいじゃん1：仕事でつながり仕事がつながる、協力事務所と他土業の紹介サービス。
いいじゃん2：見逃し配信の講習会アーカイブと年間講習会スケジュール。
いいじゃん3：助かる支援サービス開始。ホームページ開設から事業継承まで。
いいじゃん4：困ったときの保証サービスが充実。

- ・工事中コンテンツの対応について
→ 表現を広報情報委員会へお任せすることとし、併せてお願いすることとした。

2) 協力事務所紹介サービスについて (2/7 現在登録数：52事務所)

①変更届について

- ・登録内容を自身で出来るのようにした方が良いが、システム構築等が必要となるため、アナログでの対応とする。

- ・変更届の書式案について、以下を修正することとした。

建賠保険加入有無は、保険の種類を記載する。

CPD制度は、CPD制度登録有無に修正。

備考欄は、大きくする。

参考項目は、説明文を記載する。

→ <参考>項目の内容は以下となっておりますので、変更する項目を記載して下さい。

項目の□を■にする。(チェックできないように)

記載例を作成する。

3) 「建築士事務所企業年金基金」について (進捗報告)

- ・次回、報告とした。

4) 協定締結後の運用について (担当委員会の検討) (進捗報告)

- ・次回資料提出することとした。

5) 3/11 10:00~12:00「広報情報委員会との合同WEB会議」開催 (委員出席：任意)

- ・案内を送付するので、参加できる方は参加をお願いした。

(3) 講習会等の動画配信に関するルール作りについて

- ・山口副会長より後日、資料提供頂けるとの連絡があったことを報告。

(4) その他

- ・なし

次回委員会日程について

- ・3月に参集で実施することとし、開催日は、鈴木委員長が調整さんで行うので、回答をお願いした。
終了後に懇親会を実施予定。(候補日：3/15、3/18、3/19、3/26、3/28、3/29)